

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	15	0403	災害用物資備蓄事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	2	自然災害対策の強化			
目的	災害用物資の備蓄					
対象	市民					
意図	計画的な備蓄により市民の安心・安全が確保される					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○避難所等で使用する災害用物資の備蓄・配備						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	災害対応用毛布備蓄数		計画	2,000	2,000	2,000
			実績	1,980	2,000	
②	災害用食料(アルファ米他)備蓄数		計画	14,000	15,000	15,000
			実績	15,000	15,000	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	災害発生時の避難所の初動に備え、市民の生命を守るため、最低限の備蓄が必要である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	災害用物資の備蓄計画に基づき計画的な備蓄を進めているが、保管場所の確保等により、より迅速な対応が可能となる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	現在の被害想定による被災者が、災害発生後、流通物資が確保されるまでの間に必要な物資を整備する必要があり、食料や水は保存年限があることから定期的に更新が必要である。また、契約事務等必要最小限の事務を行っており、人件費の削減余地は無い。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	大規模災害による避難勧告をした場合、避難所を開設するのは行政であり、食事や寝具を提供する必要があることから、受益と負担は公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
物資の備蓄計画の策定により、計画的な物資の備蓄を行う体制が整備されたが、災害時に、より迅速に対応できるためには、保管場所や運搬方法等についてさらに検討を要する。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 総合政策部 課名 防災危機管理課 担当係長 赤沼雅仁 内線 477
(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	15	0403	災害用物資備蓄事業

単位：千円					
		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,754	4,167		413
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	50	50		
	一般財源	3,704	4,117		413

事業期間 ○ 単年度繰返 期限限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部経営方針における目標

防災・危機管理体制の充実を図ります

事業開始の背景・経緯

全国的な地震災害や水害による災害対応の課題をふまえ、災害用物資の備蓄について検討を行い、災害時の応急活動ができるよう非常食や災害用トイレの整備を開始した。

事業概要

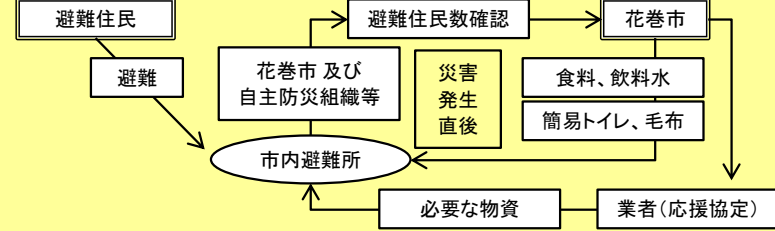
○避難所等で使用する災害用物資の備蓄・配備

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

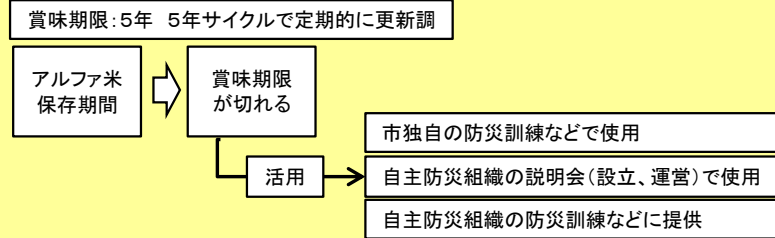
物資の備蓄計画に基づく計画的な備蓄と保管場所の確保

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○災害発生時の対応



○非常用食料の更新



○災害用物資の備蓄計画に基づく備蓄

- アルファ米 3,000食 (ご飯2,350食、お粥650食)
- 粉ミルク 11,050g (850g入×13缶)
- 5年保存水 3,000ℓ (1.5ℓ入×2,000本)
- 災害用毛布 950枚 (圧縮パック1.3kg)